

## 海外短信



～ ポーランド ～

## 日本ガイシ NOx センサー工場開所式

～日本ガイシ(株)～

日本ガイシ(株)の製造子会社であるNGKセラミックスポーランドで6月14日、NOxセンサー工場の開所式が開催されました。式典には、弊社セラミックス事業本部長の浜中俊行取締役専務執行役員やセンサ事業部長の倉知寛執行役員ら22人が出席。浜中専務がテープカットを行い「予定通りに量産を開始できた。今後も需要拡大に対応するため、生産能力増強を図っていきたい」と抱負を述べました。NGKセラミックスポーランドで初めて製造されたNOxセンサーに署名するセレモニーも行われました。

ディーゼル車の排ガス規制の強化により、今後需要の拡大が見込まれているNOxセンサーの客先は、トヨタ様をはじめ、主に欧州の自動車・トラックメーカーです。これまでは素子の生産からセンサーの組み立てまで日本国内で行っていましたが、今後、欧州向けは市場に近いポーランドで組み立てを行います。

NGKセラミックスポーランドでは今回量産を開始した組み立てラインに続き、2014年に第2組み立てラインの稼働を予定しています。これにより、弊社のNOxセンサーの年間生産能力を日欧あわせて700万本に増設する計画です。需要に応じた供給体制をいち早く整えることで、NOxセンサーのリーディングカンパニーとしての地位確立を目指します。

